

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

開胸術後患者の人工呼吸器再挿管、ADL再獲得についての検討に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月1日～2017年12月31日に当院で心臓血管外科の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

弁膜症術後、人工呼吸器の再挿管は在院日数の増加や予後に影響を与えるため、術後の呼吸器合併症の予防は重要であると言われております。また、術前のスパイロメトリーで測定された値や栄養状態は術後呼吸器合併症に影響を与えるとされております。しかし、我々が渉猟した範囲では人工呼吸器再挿管となる因子分析した研究ではスパイロメトリーで測定された値および栄養状態を複合的に検討した報告は見当たりません。

ICU退室時において身体機能や基本動作を改善させるといった報告はみられるがADL再獲得についての報告はあまりありません。ICU退室後は一般病棟にてADLの拡大がもとめられ、また活動量の向上による運動耐用能の改善といった点でもADL再獲得できているかどうかは重要です。

そこで、本研究では術前のスパイロメトリーで測定された値と栄養状態が人工呼吸器の離脱に関係があるかを明らかにすること、またICU入室前と退室時のADLについての調査を行うことを目的とします。

研究期間

2018年1月25日から2020年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景(年齢、性別、術式)、呼吸機能(対術前)、心機能(対術前)、体重(対術前)、栄養状況、血液データ(アルブミン)、理学療法評価(FIM、MMT、握力、Short Physical Performance Battery)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合で

も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院リハビリテーション室 氏名：吉田 俊裕(研究責任者)

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000